三和新報
THE SANWASHIMPO

第442号（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）
日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月50円

10月10日（月曜日）

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053

御婚禮家具一式
座卓会席膳 各種豊富
家具と漆器
あるが
市平ぎんざTEL223

☆☆☆☆☆☆☆ 菊人形展 ☆☆☆☆☆☆☆

情操教育は菊まつりから
教委、教組などから推せん状

十一月一日から二十五日まで平市三十メートル大通り南端広場で華々しく菊花の豪華絵巻を繰りひろげる〃いわき商工菊まつり☆菊人形展〃は九日から一斉に平市をはじめ福島県下の街から村へ元磐高教諭柴田善登画伯の力作による歌舞伎調七色オフセット刷りのアッと人目をひくポスターが張りめぐらされ人気を呼んでいるが県教委石城出張所、町村長会、県教組では七日連名で石城郡下小、中、高校百十八校八萬三千名に対し大国主命といなばの白兎など菊人形十場面ほか磐女賛助出品の菊など児童、生徒の情操教育面の資料となるものが展示されるため秋の遠足がわりに観賞するよう推薦状を発した、なお菊人形事務局では特に小中学生の団体に対しては入場料十円に割引、生活保護児童に対しては入場無料のサービス、話題は話題を生んでいるので平市は挙げて菊まつりデーとなり盛況が予想されている。

会長に鳴原氏
石城地区珠算同好会

石城地区珠算同好会結成式は九日平商工会議所で行われ次の役員を決めた。
▽会長＝鳴原四郎（平）▽副会長＝庄司速臣（常磐炭鉱）▽理事長＝松崎年宏（平）▽理事＝中村（勿来）進藤（常磐）森、松村（内郷）小野、松崎（平）長谷川（四倉）高木（磐城）

木村参院議員帰国演説会

欧米十二カ国を視察してこのほど帰朝した参議院議員木村守江氏の講演会は石城町村協議会長諸橋久太郎氏らが発起人となって十二日午後一時から平市公会堂で行われる。

ゴルフ場開場延期
卅日、十一月三日両日

既報＝水石山ゴルフ場開きは九日午前十時から行われる予定だったが会場の都合で三十日と十一月三日の二回にわけて仮開場式を行い水石山ゴルフ杯をかけた盛大なゴルフ大会を行うことになった。参加選手は三十日が地元、十一月三日は東京、仙台、日立など県外の選手が参加して技を競うことになっており秋の高原でくりひろげられるこの大会は当地方初の試みだけに大賑わいが予想されている。

平おどりの宣傳提灯
平駅頭を飾る

盛秋を飾って二十三日（日）午前十一時と午後四時から昼夜二回にわたり平市公会堂本館で挙行される平料芸組合主催の〃平おどり〃を広く宣伝し観光客を誘致するため、同会では十七日から二十三日まで平駅ホーム、改札口、待合室四カ所に「平おどり」と真赤に染め抜いた枠入れ花提灯の宣伝装飾を行い旅客の目を楽しませる。

点字講習会 身体障害者福祉協議会では本年度事業計画の一環として十一月一日から二十二日まで毎週火、木、土の三日間点字講習会を行う。

人寄せ最大の催し
菊人形によせて諸橋平市長談

〃いわき商工菊まつり☆菊人形展〃は常磐地方総合開発促進の祈願と大豊作を喜ぶ祝賀行事であり、しかも今回は県下初の菊人形展だけに飛行機、ラジオ、キャラバン隊などあらゆる宣伝方法により遠く水戸、郡山、双葉、相馬から外客を呼ぼうという計画を持っている。地元の人々は、去年まではわざわざ遠く水戸、笠間まで時間とお金を使って見物に行ったものが、今年からは直接眼のあたりに観賞出来るようになった。正に菊人形はあらゆる面から考えても催し物中では人寄せの最大の計画であり、これに平市を始め商店街、飲食街の期待は絶大なるものがある。私は〃平の菊人形展〃を年中行事として盛大に今後とも引続き挙行されるため市民の全面的な御協賛を望むものである。

目黒、石井氏優勝
きのう平市営弓道場開き

平市松カ岡公園に建設した市営弓道場開き記念弓道大会は九日同弓道場に県弓道連会長三森盛、平弓道会長高根沢秀雄氏はじめ遠く須賀川、郡山方部の選手を混えた五十余名の腕自慢が参加して行われ妙技を披露した。成績次の通り。
◇尺二的競技＝①目黒宗清（好間）②伊藤秀一（平）③大原一郎（磐城）
◇点取り競技＝①石井賢宗（須賀川）②高橋藤喜留（沢石）③福場良平（平）なお試合終了後目黒選手に県体協の優勝メタル伊藤選手には伊藤、佐藤両弓具店寄贈の大弓が贈られた。

天下御免のドブロク振舞い
十八日十九日 勿来国魂神社の祭礼

天下御免のドブロク振舞いと酒かすのつかみどりで有名な勿来市窪田町国魂神社の祭典は十八、十九の両日行われる。今年は有史以来の豊作だけに近郷からどっと人が押しよせるものと思われる。

金を盗み旅館泊り
西部劇に憧れた少年三人組

現金三万円を盗みだしカーボーイの道具などを買いあさりながらあちこちの旅館を泊り歩いていた中学生三人が平署に保護されて問題を投げている。

この恐るべき中学生たちは磐城市某中学のS(一四)M(一五)S(一三)の三人でさる三日の午後、道路に置いてあった自転車の荷台から風呂敷つつみを盗みだし中をあけてみたところ手の切れるような千円札で三萬円入っていたのでびっくりしたが、よーしこの金で西部劇の主人公のようにあちこち放浪しようと相談、無断で家を飛出してまず平市に現われ短剣やカーボーイ帽を買ってその日は旅館に泊り。翌日水戸市の繁華街で映画やパチンコ、飲食店に入りこみ西部男の恰好よろしくドンチャン騒ぎして水戸の旅館に泊りこみ昼は盛り場で過し夜は旅館で一騒ぎという生活を五日間続けたがだんだん金が少なくなってきたので心細くなり九日朝水戸を出発、平に戻って市内をぶらつき某旅館に泊っているところを平署員に保護されたもので三萬円の金は三千円しかなく風呂敷つつみにはカーボーイ用品が一ぱい入っていた。

これは家出少年ドロ

悪の華を咲かせていた住居不定の三人の不良少年が平署につかまった。
▽平市二丁目生れ少年F(一九)と磐城市生れ少年S(一九)の二人は九日午前三時ころ平市豊間漁業四家梅子さん(三九)方の台所にしのび込みだしその足でこんどは同部落農鈴木福次郎さん(五〇)方に侵入しアルマイト製弁当、サンマなど盗んでいるところをみつかり平署につかまった。
▽茨城県多賀郡生れ少年N(一九)は八日午前十時ころ平市鎌田無職松崎トミさん(五七)の留守を狙ってしのび込み現金三百五十円のほか衣類二点計六百円相当を盗んで逃走市内をぶらついていたところを平署員に職務尋問されつかまったが三人とも家出して各地で盗みを働らいていたものらしく余罪相当ある見込み。

愉しき人生
日本一の大実業家

語る人 平市観光課長 鯨岡多久氏

親爺の名は半弥、名前のせいでもあるまいが、俺が磐中三年の時に五十才で若死した、そのころの磐中生は皆「俺は陸軍大将だ」「俺は海軍大将になる」と大将ぐらい偉いものはないと思っていた時代だったが、俺は実業家になると決意した、磐中を出るとカスリの着物、小倉ハカマのいでたちで単身上京、念願成就の紙ツブテがベタベタと貼りつけられてある上野の南州銅像の前に突立って考えた、当時は東京も二階家ばかりなので、はるか遠くの室町に三越デパート白亜の殿堂がそびえて見える日本を左右し世界に君臨していた三井財閥だ、俺はあそこの大将が日本で一番偉い実業家だと信じた、よーし素裸でぶつつかってやれと上野から歩いていった、先づ相手を知らなければならぬと、デパートの大将は誰かと交番に聞くと三越デパート社長、三井銀行頭取野崎広太氏だと言う、高橋是清とか、後藤新平の名前は新聞で知っていたが始めて聞く名だ、メクラ蛇におぢずというが、恐ろしい者がいない、目的は書生入りだ、デパートで会うより自宅訪問がテッリ早いと電話帳をめくって住所を調べた、いまでも知っている渋谷町羽根沢一八一番地だ、腹が減っては戦争が出来ぬと魚河岸のノレンに頭を突っ込み、生れて始めてのマグロ寿しで腹ごしらいしてから野崎家に向った

門構えの左右には一抱えもある大木がウッ蒼と茂っている、俺は小砂利をしきつめた庭をノッシ、ノッシと歩いて玄関で野崎さんに面会を申し入れた、始め出て来た小間使をテッキリ奥さんと思いちがいして最敬礼したのは矢張り田五作だったよ、あとで聞えたのだがその小間使はおスミさんと言った、その報告が良かったのだね、田舎者だが美少年という紹介だったそうだ そこで俺は二十畳間の黄色いラシャじゅうたんの敷いた応接間に招じ入れられた、約一時間も待たされた、やがてサッサという畳をすり歩く足音がする、耳をすまして聞いていると人数が多すぎると思っているところに目の鋭い小柄な野崎さんが、驚くなかれ一人づつ小さな羽根ブトンを持った十四人の美女小間使をしたがえて姿を現わした、ドッカとソフアに腰を降すとたんにギイと俺を睨みつけるようにした、俺も心持ち睨み返すように見た、小間使たちは持って来た羽根ブトンを野崎さんの小脇などスキ間というスキ間に差し込む、野崎さんが〃お前たち〃という声で静かに引き上げた、一対一の話となる、どこの産かと聞く、またたたみかけるように産物は何か照介状はと聞く、俺は「ありません」と応じた、これに対し野崎さんは「どういう意味でここに来たか」と聞くので、ここぞと「日本第一流の実業家に私淑し、その人の私生活を研究するために参りました」と言うと日本一気分よくしたのか彼が二コ二コとした、これを俺は見逃さなかった、こんなわけで俺は野崎家の一員となった、これが人生のスタートだ、勉強になったよ、野崎さんは犬養総理が組閣する時に当時の金で百五十萬円を政治献金した大物だ、俺はこの人に食りさがった。田舎の田五作青年でもやろうとすれば何事でも出来るのだ、千萬人といえども我征かんとの気はくがあれば面を撫で上げられようが、蹴っとばされようが人生は愉快なものだよ。

勿来市制祝賀に山車
張切る植田町商店街

十五日から行われる勿来市制祝賀祭典に植田町商店会では十六日全町商店を挙げトラック三台に舞台を設け芸妓の手踊り披露、三輪車十台を花で埋め植田、錦、勿来、窪田、川部、沼部、山田などをめぐり余興を公開することになった

理科教育研究会

内郷高校（校長村田春男氏）では二十九年度理科教育振興法の対象校としての立場から十五日午後一時から四時まで同校体育館で理科教育研究会を開く、なお原子物理学の権威東京都市大学教授千谷利三先生が来校し「欧米に於ける原子力の開発状態について」と題する特別講演が行われる。

参議院議員木村守江先生の
歐米十二カ國視察みやげ話
日時 十二日 午後一時
場所 平市公会堂本館
＝多数御来会願います＝
責任者 平市 内木宗八

そつとお知らせします
ハムバーグステーキの材料
牛豚引肉、玉ネギ、玉子、食パン、牛乳
調味料
塩、コショウ、味の素、ニンニク
喫茶と洋食 サニー
電一一〇九
￥100～150

秋は食物の美味しい季節です……
カロリー補給には……
新鮮な味と香りの店
レストランパールで……
御会合、御商談……
そぞろ歩きの御散歩の折、
御気軽にお立寄り下さいませ……
レストラン パール
PEARL
平市三田小路五ノ一
TEL 一三八八

時計なら

スイス堂
平市五丁目

只今上映
6日から11日まで
講道館四天王 菅原謙二 峰幸子
今日限りの命 ゲイリイクーパー ジョンクロフオード
うえだ館

六大都市開催後初の地方展示会
木村伊兵衛 外遊写真作品展（150点）
ロバート・キャパ 日本印象写真展（60点）
10月11・12・13
午前9時～午後7時
主催 常磐市湯本公民館 常磐市青年文化協会
後援 浜通り写真材料商組合

きみ子の早百合

平おどりヒルの部　大物は戻り橋

既報＝平料芸組合の第二回〝平おどり〟は廿三日、昼の部午前十一時、夜の部午後四時の昼夜二回、市公会堂特別舞台で行われるが、この〝平おどり〟は総費用二百万円。八十名のキレイどころが総出演という豪華版で今回は特に新曲〝浮世絵燈籠八場〟があり前人気は上々である。

演し物の荒筋と出演者は次の通り（浮世絵燈籠は昼夜上演、夜の部は明十一日掲載）

昼の部

▼口上＝常盤津三喜蔵師、分柳美小春事、喜美の家小りん事、清元松之助師、湖月小南事、杵屋十茂代師、寿づの家おちゃら事、常盤津三喜春、常盤津三喜枝、清元松茂之、杵屋十茂敏

長唄〝廓の奴〟

江戸時代全盛を誇っていた華やかな吉原仲之町を背景に主人のお供でやってきたヤツコさんがあまりの賑いと人盛りに見とれて主人公を見失ってしまう、そこでヤツコさんは一すうろえるが根がひょうきんものでヤツコさんは色里の風俗を楽しんでいる、通り合わせた可愛らしい禿（かむろ）と主人公の自慢話やご廓の内輪話、それに芸事の話などをして色模様を展開する。

これは長唄「供奴」を主題として花柳登喜蔵師が新たに振付けたもので文化、文政の時代風俗を幻想的に美しく再現している

▼立方＝供奴、利美、かむろ、春弥▼唄＝杵屋十茂代、小南、花香、小龍、金弥▼三絃＝杵屋利敏郎、杵屋十久江、清美、駒吉、駒千代▼鳴物＝望月長一郎（笛）メ子、小紅、玉香、福丸、よう子（鳴物）おちゃら、すみ子、とみ子（太鼓）

清元〝落人〟

この曲は俗に〝落人〟と称しているが本題は「道行旅路の花婿」となっている。忠臣蔵三段目の裏を行った仕組になっており演劇記録には天保四年三月、江戸河原崎座にて演されたのが初まりとなっている。二代目清元延美太夫の清元で早野勘平が市川海老蔵、腰元おかるが尾上菊五郎、鷺坂伴内が尾上権五郎という役、そのご数えきれないほど上演され、しかも少しもすたれることがない作品である踊りの筋は塩谷判官の腰元おかると近習の早野勘平が不義をして鎌倉からおかるの在所である京の山崎へ落ちて行く途中、戸塚の山中でかねてからおかるに横恋慕していた高野の家来鷺坂伴内が後を追いかけてきておかるを連れ戻そうとするが、かえって勘平のため打ちすえられて逃げて行くという筋

▼立方＝おかる、けい子、勘平、小桜、伴内、小龍、花四天、大ぜい▼唄＝小南、寿美子、おもちゃ小寿々▼三味線＝清元松之助、駒吉、鈴代、おちゃら

常盤津〝戻橋〟

昔、京の都に夜な夜な悪鬼が現われて人をとり殺すというので夜は往来する人もなくなってしまい、そのため内裏（天皇の住居）の警備にあたっている源頼光は維仲郷の姫君の所を尋ねる暇もないので渡辺綱を姫君の所に使いにやる。その夜渡辺綱が帰り路、一条通の堀川にかかっている戻橋にさしかかると美しい女が出てきて道連れにしてほしいというので一緒に歩いて行くとその女が自分の名前を知っているので怪しみその女が鬼女であることを見抜いて勇猛心を振い、遂に鬼女の片腕を斬り落すとその悪鬼はどこかに消えてしまった。という伝説にもとづいて作られた踊りである。

これは河竹黙阿弥が最初素浄瑠璃として書いたものだが五代目尾上菊五郎の懇望で明治廿三年十月歌舞伎座の舞台に所作事として初演された。当時の配役は尾上菊五郎の早百合（実は鬼女）市川左団次の渡辺綱、いずれも大好評で「茨木」「土蜘」などと共に新古演劇十種の一つとなっている明治時代の代表的作品である。

▼立方＝早百合…とみ子、渡辺綱…久菊、右源太…ひろ子、左源太…かつ子▼唄＝小春、花香、久丸春駒、綱代▼三味線＝常盤津三喜蔵、清元松之助、きね屋和敏郎、きね屋十茂代、河野いち、作調…望月左三郎、振付…花柳登代蔵。

今晩のラジオ

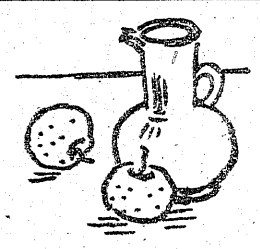
◎NHK第一放送

六・〇〇＝子供のシンプン、夜明け朝明け
六・二五＝新諸国物語（オテナの塔）
六・四〇＝スポーツだより
六・四五＝県民の時間
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝三ツの歌
八・〇〇＝お父さんはお人好し
八・三〇＝浪曲
九・一五＝街頭録音（お米の希望配給をめぐって）
九・四〇＝春子の手帳
一〇・一五＝録音構成
一〇・四〇＝風流歌草紙
一一・一〇＝世界をつなぐ
一二・二〇＝お休みの前に

◎ラジオ福島

六・〇五＝空の向うに何がある
六・一五＝スイートコンサート
六・二五＝児童劇
六・四〇＝父を訪ねて一萬キロ
七・一五＝連続ドラマ
七・三〇＝若子の歌僕の歌
八・〇〇＝演芸廿辛亭
八・三〇＝浪曲
九・〇〇＝ユーモア千一夜
九・三〇＝投資家サロン
九・四五＝民謡風土記
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一二・〇五＝浪曲名調アルバム

現代新聞批判



今日は真面目な話をしてくれって？あー新聞批判かそりゃあいろいろあるね。

まづ新聞の中立という問題だが、最近の新聞は昔と較べて非常に公平になってきたね。もつとも昔というのは明治、大正時代をさすのだから民主々義の現在当然のことかもしれませんがしかし中立ということが新聞社の生命である以上当然のことでも嬉れしいね。それから新聞記者諸公には耳の痛い（これは失礼）ことかもしれんが相手の話をよくきいてその問題の骨子をつかんでいただきたい。どうも人の話より自分の憶測を強く入れる嫌いがあり問題の本質と違つた記事が時々あるので話してもよいと思うことでもつい隠したくというより危ないので話せない場合がありますからね。時間で忙がしいのでしようがもう少し相手の話をよくつかんでもらいたいものだ。

家庭欄充実せをよ

平保健所次長　北畠雄次郎

うな家庭欄にもう少しスペースを取つてもらいたい、日本の主婦族というものは自分たちの生活に直接関係のあるような記事しか読まない傾向があるので（叱られるかな）そのことをとくのみこんで料理とか家庭経済欄みたいのを多くしてもらいたいですね。

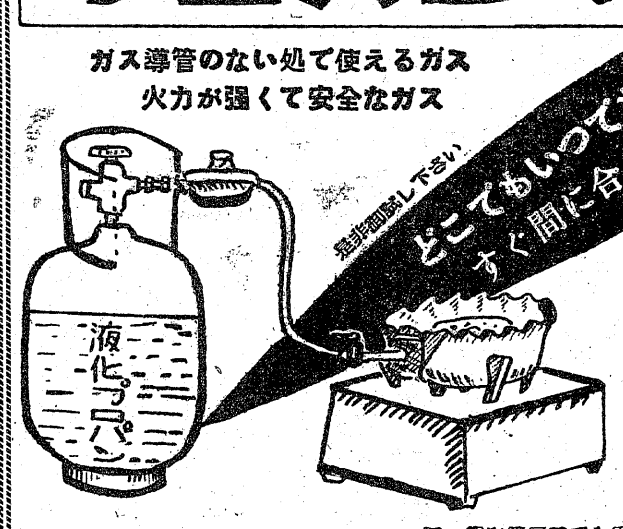
それから政治や社説の固いのはあまりいただけない。もつとわかりやすく書けないものだろうか、一部のインテリを対象にするのでなく大衆を相手にするのならもつとわかりやすい文章で書いた方が新聞社にとつても有利なのでないだろうか。最後に誤報の点だがメンツとか信用とかにとらわれないで誤報は誤報として卒直に正した方がかえつてその社の信用を増し自分たちの本当の味方であると親しむのでないか。

余談になるが眠りたい盛りの新聞配達がまだ暗いうちから駈廻つている姿には同情しますね。大人はあまり彼らを叱つたりしないで暖たかく見てやるべきだと思う。

日本の新聞ばかりでないだろうが三面記事はあまりにもセンセショナルの記事が多いですね。一向につまらん社会的になんの影響もない事件が三段見出しで堂々とノサばつているのはあまり感心しないそれよりも主婦の教養を高めるよわかりやすく大衆を相手にするのならもつと

プロパンガス

ガス導管のない処で使えるガス
火力が強くて安全なガス

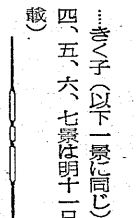


……経済清潔簡便安全な……
……プロパンガスは必ず……
……皆様の御満足をいた……
……だけると思います……

何一軒次第何時でも係員が参上致します

東部産業株式会社　TEL242

秋の女



○天高く馬肥える候、いや〳〵物価高く女性ますます肥える候ともなれば女性の肉体美は秋のさんさんたる陽をあびてますます輝やきセーター乙女の海抜は男性に遥かなる郷愁をよび起させるに充分だが肉体美を嫌う女性も多く楽屋さんやお医者の門をたたき〳〵なんとかやせる方法はないでしようか〳〵という人がめつきり多くなつてきたそうだ。物価高く女性…候らしい話題でやんすな。

ただそれだけ

○…七日の朝平市の中学生S君が友だちと赤井岳に栗拾いをしているうち木の実に埋まつている白骨を発見。ぶつたまげて平署に「ニ人間の骨があつた」と連絡した同署ではなにかの間違いだろうと思つたが忠実なる警察官ともなればそこが辛いとこ半信半疑でも検視に行かねばならず車を飛ばして現場で調べたところ小犬の骨。ただそれだけの話です。

今晩の映画（五一十一）

◇聚楽館　宇宙征服　帰らざる河（七、〇〇）
◇世界館（十日まで）　愛の歴史長崎の夜（七、〇一）
◇平　館　愛慾と銃弾　かりそめの唇（六、三〇）
◇ひかり座（十日まで）　黒い街情事の終り（六、五三）
◇東　映　力斗空手打ち一、二部暴力街（六、四一）
◇民　劇（十四日まで）オクラホマキツド　勇者のみ（六、五五）
◇綾映劇（十一日まで）僕は横町の人気物　修禅寺物語（七、〇〇）
◇第二いわき（十一日まで）第八ジエツト戦斗機　男の城（六、三〇）
◇うえだ館（十一日まで）講道館四天王　今日限りの命（六、三〇）
◇菊多劇場（十一日まで）復讐の七仮面　牡丹燈籠（六、三〇）

①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

御婚礼にはぜひ大広間を
御利用下さいませ
御商談、御會合には
閑静な別館を
お電話でどのような御相談もお受けいたします
大貞
平市田町
本館電話四一二三番
別館電話一九九三番

寿司　小料理　みしま
平市田町
電九一五番

御婚禮の贈物に
腕時計、枕時計
オルゴールスタンド
時計は
金光堂
平5. TEL195

平市古鍛治町（県社下）
性病　皮膚病科
矢吹医院
電話一、一九三番

ミシンはハッピイ
純の小山で
レコードと楽器！
吉家の店
天地堂
平・平和通り
TEL 589

銘菓
平餅
松月堂

同人とはいえ、お互いが制約されぬ、本当に文学を愛好する者の自由の園

原型第二號

創作　依頼　伊坂正光　母への綴方　南雲勝彦
俳句　悲劇　斎藤砂丘　廃坑　町田音弥
郭公笛　深沢啓三　方位感覚　安達真弓　他
詩　三野混沌　白い石　久田昌男
秘密　小倉倉三　ここは遠い石の下　芳賀他郷
製靴読本　菅田甫　断層　真尾皆弘
ほとけさま　すがた・みほこ　他

発行所　平市田町五七　電一一〇四
編集人　菅田甫、安達真弓
毎月一回発行　定価五十円